

## 富山県・高岡圏域

### 1. 令和元年度の達成目標・取組状況

令和元年度の達成目標	取組状況
1. 長期入院者患者数の減少	<ul style="list-style-type: none"> <li>管内全ての精神科病院(8 病院)を訪問し、本事業の目的及び管内長期入院患者の現状を説明</li> <li>精神科病院の長期入院者の退院者数を把握するため、各病院に今年度の集計を依頼</li> <li>地域移行対象者をリストアップし、多職種による退院支援を実施</li> <li>管内の保健医療福祉関係者との連絡会(実務者会議)を定期的開催し、事例の検討や情報交換を実施</li> <li>管内の保健医療福祉関係者を対象に地域包括ケアシステム構築のための研修会を実施</li> </ul>
2. 圏域における協議の場の設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置にむけて、圏域の各市障害担当部局及び精神科病院への説明を実施</li> <li>各市の意向を確認・把握</li> <li>厚生センター及び各市の既存の協議会の位置づけを整理し、協議の場の設置に向けた方向性を検討</li> </ul>
3. 地域移行支援(サービス利用)による対応事例数の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>各病院からリストアップされた地域移行対象者について、市障害福祉担当者及び相談支援事業所等を含む多職種による退院支援を実施</li> <li>相談支援事業所に地域移行対象者の相談対応を依頼</li> <li>精神科病院職員(医師、看護師、精神保健福祉士等)を対象に地域移行支援の周知のための出前講座を実施(管内 8 精神科病院中 5 病院)</li> </ul>

### 2. 支援事業の成果

<ul style="list-style-type: none"> <li>精神科病院スタッフの意識と行動の変化がみられた (入院患者への関わりとして患者の強みに焦点をあてる、院内の体制について入院時から家族に退院を意識してもらう、看護部門と地域連携部門との情報共有や連携の重要性など)</li> <li>実務者会議では圏域の強みや地域の支援体制、各機関の役割等を検討し共有することができた。</li> <li>相談支援事業所や市障害担当者が精神科病院へ出向くことで、地域の支援者と顔の見える関係づくりができた。</li> <li>出前講座に併せ、各病院内で実施した入院患者の退院意向等調査を通じて、看護職が入院患者一人一人と退院を意識して関わる機会を持つことができた。</li> </ul>
---

### 3. 次年度に向けた課題等

<p>【事例への支援について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援事業所のマンパワーが不足し、タイムリーな対応が困難な場合がある。</li> </ul> <p>【協議の場について】</p> <p>○圏域の協議の場について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市の自立支援協議会との関係性や、県(圏域)地域精神保健福祉推進協議会を見直す等の調整が必要</li> </ul> <p>○市町村の協議の場について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村における協議の場については設置主体である市町村が協議の場の役割を十分に理解することが必要。</li> <li>また、既に設置されている各市の自立支援協議会とどのように連動させていくのか具体的にイメージできるための働きかけが必要。</li> </ul>
---

### 4. 課題の解決に向けた 令和2年度取組方針

<ul style="list-style-type: none"> <li>実務者会議を継続し、リストアップした地域移行対象者の支援を継続 (今年度の対象事例については、来年度も引続き支援を継続)</li> <li>事例支援の中であがった課題のうち、地域課題として検討が必要なものは圏域の協議の場で検討する。</li> <li>圏域の協議の場については、引き続き厚生センターの既存の協議会との役割を整理し R2 年度内の設置を目指す。</li> <li>市の協議の場については、管内 3 市の意向を確認しつつ、その役割や重要性について引き続き働きかけていく。</li> </ul>
---